

地域リハビリテーション支援センターの事業計画について⑤（西多摩）

福生市・羽村市・青梅市・あきる野市・瑞穂町・奥多摩町・日の出町・檜原村

1 選定病院

医療法人財団 利定会 大久野病院（日の出町）

2 事業計画と選定委員会での総合評価

小項目	事業計画
必須の役割	地域リハビリテーション力の向上 (1) OT・PT・ST等対象の症例発表会など ・都理学療法士協会、都作業療法士協会が開催する症例発表会や、西多摩医療福祉連携研究会が主催する研究発表会に協力 ・西多摩医師会を中心とした西多摩医療福祉連携研究会が主催する研究発表会に協力 ・若手技師向け研修会（現場ですぐに活用できる技術研修会等） (2) かかりつけ医へのリハビリテーション知識・技術情報提供 ・西多摩医師会と協力し、リハビリテーションに関する研修会を実施（1回/年）
	訪問・通所リハビリテーション分野への支援 (1) リハビリテーション施設従事者とケアマネジャーとの交流の場の設定 ・医療機関、訪問・通所リハのスタッフが地域のケアマネとの情報交換会（1回/年） (2) ケアマネジャーへの研修 ・「典型事例から学ぶ!」シリーズ研修会（3回/年） (3) ケアプラン相談支援 ・月～土 9時～17時 ・あきる野市の依頼（地域包括支援センターの事業支援）7・10・2月の第3木曜日
	地域リハビリテーション関係者との連携強化 (1) 設置を予定する地域協議会（連絡会） ・西多摩訪問リハビリテーション連絡会（6回/年） ・西多摩リハビリテーションスタッフ連絡会（1回/年） ・西多摩MSW連絡会（1回/年）
	若手理学療法士及び作業療法士の実務研修受入 (1) 受入予定人数 ・24人/年 (2) 研修内容（予定） ・カンファレンスへの出席、装具作成の見学、高次脳機能障害研修、回復期・療養の入院から退院支援までのプロセスを含めた研修、医療・介護計画の動向（制度論、基礎）も含めた講義
選択する役割 (1) 区市町村による在宅リハビリテーション支援事業等への支援 ・在宅神経難病患者やその家族へのリハビリテーション技術の提供 ・各市町の介護保険課や障害福祉課からの、在宅療養中の方の対応困難時などの相談支援、コーディネーター、講師派遣等 (2) 脳卒中医療連携推進事業への支援 ・青梅市立総合病院開催の「西多摩医療福祉連携研究会」において連携に関する演題発表 (3) 高次脳機能障害のリハビリテーション事業への支援 ・西多摩高次脳機能障害支援センターを運営、普及啓蒙や地域連絡会等を開催し、障害福祉課・障害サービス事業所、介護保険課・介護サービス事業所とのネットワーク構築 (4) 介護予防における地域リハビリテーション促進事業への支援 ・各職能団体との連携により、地域の各専門職が介護予防事業に参加する体制構築支援	
【総合評価】 ・資源が地域全体に不足していることを踏まえた取組を進めている。 ・地域での横の連絡、協力はうまくいっている印象がある。 ・様々な取組ができています。地域の特性が考えられている。 ・地域支援の視点を有しており、評価できる。十分実績を有している。 ・若手の理学療法士及び作業療法士実務研修の計画内容が具体的に記載されており、評価できる。	

3 区市町村・地区医師会への意見聴取

区分	区市町村		地区医師会	
	有 5か所	無 3か所	有 1か所	無 -か所
現在の連携状況	【連携内容】 ○羽村市 ・個別ケースの関係者会議出席、家族会等への参加、相談支援 ○青梅市 ・高次脳機能障害リハビリテーション事業への支援 ・ケアマネジャーとの意見交換の場の提供及び研修の実施 ・地域の関係機関の連携強化 ○あきる野市 ・ケースに関する相談、研修への参加 ○日の出町 ・28年1月からセンターの事業と連携調整を開始 ○檜原村 ・会議・研修会等に参加		【連携内容】 ○西多摩医師会 ・当該センター、センター長並びに多職種は、西多摩二次保健医療圏における脳卒中医療連携、高次脳機能障害・摂食嚥下機能障害支援活動、在宅医療研修や実践等々に中心的な役割を果たしており、欠くべからざる機能を発揮している。	
指定に対する意見	○福生市 ・お互いに顔が見え、気軽に相談や情報交換できる関係が築けるよう心掛ける。介護予防につながる具体方法の実践や地域活動の活性化への支援を期待 ○青梅市 ・ケアマネとリハにかかる意見交換や研修の場とともに、各施設の連携強化に寄与し、また、高次脳機能障害の特性に対応した適切なリハを提供するなど、必要不可欠な施設。引き続き継続を要望 ○あきる野市 ・圏域において、医療・介護の連携を意識した事業運営を実施 ○奥多摩町 ・圏域の地域包括ケアシステム構築のため、更なる連携を希望 ○日の出町 ・地域医療と介護の発展に貢献することに力を入れている。医学的なアセスメントに基づき、あきらめない治療や徹底したサポートにより在宅復帰を目標に支援しており、センターの役割を遂行できる。 ○檜原村 ・「地域に活かす医療の提供」を推進するため、地域におけるリハビリテーションの提供体制の強化・充実を実施		○西多摩医師会 ・当該センターの指定継続を推奨する。	
事業計画に対する意見	○青梅市 ・西多摩地域にも地域リハビリテーション支援センターは必要不可欠であり、事業計画に基づき実施すること期待 ○あきる野市 ・センターの専門性を活かした研修の実施、及び個別ケースに関する助言等を期待 ○日の出町 ・在宅リハ支援事業等への更なる充実が図られ、医療と介護の連携に繋がることを期待 ・西多摩地域のリハ関係者への強い働きかけを希望		○西多摩医師会 ・当二次保健医療圏の地域特性に鑑み、病床の機能再編だけでなく診療所・介護施設・居宅サービス事業所を含めて、あらゆる療養の場で医療・介護連携を促進し、5疾病5事業を補完する必要があると考えている。 ・リハビリに着目すれば、地域の総合事業における予防段階から、慢性期や人生の最終段階に至る期間の低栄養・口腔摂食嚥下障害・虚弱・疼痛・サルコペニア・意欲障害・廃用症候群等に関する疾患横断的状態像の包括支援について、当該センターが機能の核となるような、都の事業支援を希望	